

# 「家庭教育支援チーム」とは

## 1. 「家庭教育支援チーム」って何？

- 子育て経験者をはじめとする地域の多様な人材で構成された自主的な集まりであり、身近な地域で子育てや家庭教育に関する相談にのったり、親子で参加する様々な取組や講座などの学習機会、地域の情報などを提供したりします。  
また、地域の実情に即して、学校や地域、教育委員会などの行政機関や福祉関係機関と連携しながら、子育てや家庭教育を応援しています。  
第3期教育振興基本計画（平成30年6月閣議決定）では、「家庭の教育力の向上」の指標として、「地域において子育ての悩みや不安を相談できる人がいる保護者の割合の改善」を掲げていますが、「家庭教育支援チーム」は、本計画の推進において、大きな役割が期待されており、文部科学省としても積極的に支援しています。

## 2. 「家庭教育支援チーム」の構成員は？

- 地域の実情に応じて、子育て関係者をはじめとする地域の多様な人材で構成します。

(例) 子育て経験者、教員OB、PTA関係者、地域の子育てサポーターリーダー、民生委員・児童委員、保健師、保育士、臨床心理士、コミュニティソーシャルワーカー<sup>※1</sup>、地域学校協働活動推進員 など

## 3. 「家庭教育支援チーム」の主な活動は？

- 身近な地域のニーズに対応し、必要に応じて学校や地域、教育委員会などの行政機関や福祉関係機関と連携しながら、以下の取組を中心とする多様な支援を行い、保護者を見守り支えています。

### ① 保護者への学びの場の提供

- 学習機会の提供や情報提供、相談対応

### ② 地域の居場所づくり

- 地域資源を活用した親子参加型の体験型プログラムの実施
- 情報提供や交流の場の提供、相談対応

### ③ 訪問型家庭教育支援<sup>※2</sup>

- 家庭訪問等による個別の情報提供や相談対応

## 4. どんなところで活動しているの？

- 身近で気軽に相談できる存在となるよう、地域の学校や公民館などを拠点に活動しています。また、幼稚園や保育所、子育て支援センター、保健センター、児童館、小・中学校、企業などからの要望に応じて出向くなど、様々な機関とも連携し、支援活動に取り組んでいます。要望があれば、各家庭へ訪問して相談にのることも行います。

※1 コミュニティソーシャルワーカーとは、支援を必要とする高齢者や障害者、子育て中の方など、相談や援助、見守り、必要なサービスや専門機関へのつなぎをするなど、地域で困っている人を支援へ結びつける地域のお困りごと相談員。(大阪府泉大津市ホームページより)

※2 訪問型家庭教育支援についてはP.23参照。